

(様式 3)

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	本田 周二	所属	大妻女子大学
研究会等名称	心理学教育研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 11名 (うち認定心理士 0名) 非会員 3名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>「心理学」は社会と関わっているのか</p> <p>2017年3月28日(火) 15時～17時</p> <p>大妻女子大学千代田キャンパスF棟632教室にて、講習会を行った。</p> <p>講演者：相馬拓郎先生 (有限会社ネオログ) 司会：本田周二 (大妻女子大学) 参加費：無料</p> <p>15名ほどの参加者があり、成功裏に終了した。</p> <p>心理学教育研究会の目的の一つとして、本年度は、「心理学教育の可能性拡大ワークショップ」の開催を掲げていた。これは、多様な世代(小学生～高校生、社会人)へ向けた心理学教育の実践に向けた知見の共有や、他業界で心理学教育を活かしている事例の共有を講師、参加者全員で行うことで、心理学の社会的地位、認知度の向上を目指すものである。今回実施した講習会は、大学院で心理学を学び、その後、メディアに関わる仕事をされている方に、心理学と社会との関わりを提案してもらおうというものであり、本年度の目的に合致したものであった。参加者も、大学関係者だけでなく、高校生や企業関係者も参加し、心理学の成果を社会に還元するために必要なことについて活発な議論が行われた。様々な年代、立場の方との議論が出来たことは本研究会の特徴であると考えている。今後も、他業界との連携を密に取りながら、心理学教育の可能性について考えていけるようにしたい。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
心理学教育研究会				
研究集会開催日： 2017年3月28日(火)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	春田 悠佳	上智大学	○	
2	島田 珠里	国際基督教大学高等学校		
3	熊谷 智博	大妻女子大学	○	
4	松田チャップマン与理子	桜美林大学	○	
5	本田 周二	大妻女子大学	○	
6	市村 美帆	目白大学	○	
7	永房 典之	淑徳大学短期大学部	○	
8	泊 真児	沖縄国際大学	○	
9	相馬 拓郎	(有) ネオローク		
10	藤田 尚弓	(株) アップウェブ		
11	新井 洋輔	東京福祉大学	○	
12	大下 京子	早稲田大学	○	
13	安藤 香織	奈良女子大学	○	
14	山入端 津由	沖縄国際大学	○	
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2017年 3 月 31 日

日本心理学会研究会      2016      年度会計報告書

研究会名称      心理学教育研究会

研究会番号      研16012

助成金額      ¥30,000

年 月 日	項 目	金 額
2017年3月28日	講師謝礼	¥30,000

---

支出合計      ¥30,000